

自然休養林の整備へ 足寄営林署

雌阿寒オネトー



(ことしから整備される原生林の湖畔)

足寄営林署ではことしから「雌阿寒オネトー」自然休養林の整備にとりかかることになりました。

国有林は木材生産のほかは国土の保全と国民の福祉増進の役割をもっており、各種公共施設の用地として国有林の貸しつけ使用もありません。すでに足寄営林署ではオネトー周辺にキャンプ場を設置してひろく利用されており、観光資源の開発と自然保護につとめて

入り口から野中温泉地帯からオネトー、湯の滝をふくめて雌阿寒岳、阿寒富士のふもと、原生林地帯を合せた一、二四四の広大な面積でこれを四地区にわけており

- 一、風致保護地区
- 二、風致整備地区
- 三、施設調整地区
- 四、施設地区

△オネトー一周の歩道の新設
△展覧台(あづまや)の新設
△キャンプ場の拡張
△駐車の新設
△便所や防火用水の新設
△鳥獣(小動物)保護地区に餌つけ箱(五〇台)を増設
△道路周辺の整備

湖畔は自動車の通行禁止に

ここで問題になるのは野中温泉からオネトーに通ずる営林署の専用林道の在り方で、このままで車輛を自由に通行させては自然の風致がそこなわれてゆくばかりであるし、本来は散策歩道として森と湖の秘境を静かに観賞すべき地帯なので、営林署としては自然保護のためまえから一切の車輛は通行止めにした方針で、このためには山の手に宇回できる車道を新設しなければなりません。

川上元町長の町葬

名参列者によつて盛大にとりおこなわれました。

富田町助役の開式の辞には「はじまつて全員の黙禱があつて読経のあと小林町長の式辞があり、十勝交友会代表上藤福吉氏、大滝町議会議長、新津教育委員長、友人代表藤村与作氏からそれぞれ弔電の披露があつて読経のうちに山田十勝支庁長をはじめ遺族、親族、各界代表による焼香がおこなわれ、小林町長と喪主の川上典夫氏からのあいさつがあつて正午近くに式を閉じました。

消え去つた先達

相いついだ町葬

この一兩年のあいだに足寄町の元老、先達の方々が相ついでに他界。

▼ 羽磨卯吉郎氏、岡崎光三氏、山本雄四郎氏、鷺足末吉氏、片岡藤三郎氏、矢野魚次郎氏、日裏庄太郎氏、畑中重兵衛氏、川上貞通氏など。

これらの人々はいずれも町史のなかに記される足跡をもつており、清水清作前教育長はこうした人々の生存中に録音テープをとつておく構想、企画を樹てはいたものの実現せず、二十年の町史編纂作業そのものが進展しない状態。

▼ このうち羽磨、日裏、川上三氏は公選町長としての経歴の故をもつ町葬。

▼ とくに役場庁舎の敷地問題のなやゆきが気がかりで、町村合併当時の責任者として葬は珍しいことで、町の方針によれば、あとは高橋安蔵前町長と小林弘道現町長つたであらう基本事項が未だ一万一のことがないかぎり、は、もうしばらくは町葬はタネ切れ?ということ。

三十才代に活躍

川上氏は二十八才で小学校

町有山林との交換をハツキリと議決してあるのに、い



技術に生きる!

ミネ・デンキ

足寄劇場前 電話2642番

造材

マツカラチエンソー
スチール チエンソー
共立 チエンソー

造林

イリノ 共立
日立 ロビン 刈払機

建設

日立 マキタ 神鋼
電動工具

酪農

農業用絶対品
モーアグラインダー(研磨用)
神鋼印新型売り出し記念 30台かぎり
市価一万二千九百円を九千五百円に割引

長運育各種刃物豊富入荷!

機械の修理は迅速低格! 誠実本位!

有限会社 鈴木鋸刃物店

足寄町大通り T 2307